4・25外濠門封鎖弾劾！

田中優子総長はデモ弾圧をやめろ！

学生のみなさんへ

４月２５日（金）に外濠校舎前で組織的業務妨害を行っている団体が集会及びデモを行うと予告しています。
外濠校舎前の混乱を避けるために，１１時３０分から１５時まで外濠校舎門を閉鎖しますので，当日の学内への入構については以下のようにお願いします。

〇市ヶ谷駅方面から通学する学生の入構門：ボアソナードタワー門
〇飯田橋方面から通学する学生の入構門：富士見坂校舎門

デモ及び集会が終了し，安全が確認されましたら，すべての門を開門します。

４・２５法大解放総決起集会
４月２５日　１２：４０～
１３：３０～デモ出発
法大市ヶ谷キャンパス外濠校舎前集合

法大当局が外濠門封鎖予告！

４月２２日、法大当局がメーリングリストで「学生のみなさんへ」と題するメールを法大生に送っていたことが発覚しました。（右上吹き出し）

その中身は何と４月２５日に「組織的威力業務妨害を行っている団体」が「集会及びデモを行うと予告」しているから「混乱を避ける」ために「外濠校舎門を閉鎖」するとのことだ。ナンセンス極まりない！

「組織的業務妨害」とは「暴処法」のことを言っているのか？　あるいはビラまきやデモのことを言っているのか？

４月19日、武田文連委員長の申し入れを田中優子が４度目の受け取り拒否

我々は２月に「暴処法」完全無罪を勝ち取った。ビラまきやデモは田中優子総長も言っているとおり、労働運動や学生運動が歴史的に「闘って勝ち取った権利」である。もちろん何の違法行為でもないどころか、台湾や中国、韓国、アメリカ、ヨーロッパなど世界中で青年や学生を中心に嵐のように大爆発している。

「戦争反対」などと言って安倍政権を批判しているかに見える田中優子総長も、結局はデモを規制し安倍と一体で戦争への道を推し進めているということだ。江戸文化の前に戦前の法大の歴史でも勉強し直せ！

４月１９日、船橋で行われた田中優子講演会に参加した武田君は、講演会後に申入書を手渡そうとするも、またもや拒否されました。これで４度目だ！

「暴処法」無罪に何の謝罪もない！　武田君の処分も撤回しない！　申入書は受け取りすら拒否！　キャンパスを封鎖！　デモは規制！　「ビラを受け取るな」という連日の校内放送！

もはや怒りは最頂点に達した。４・２５法大デモの大爆発で田中優子総長体制を打倒しよう！！

文化連盟　無罪の法政大学文化連盟
メール：bunren08@yahoo.co.jp　HP：http://08bunren.blog25.fc2.com/

続々と寄せられる
４・２５結集アピール

◇上智大１年生

私が法大生の皆さんに言いたいのは「現状は放っておいても変わらない」という事です。学内に警察の介入を許し、学生が逮捕され、学生を徹底的に管理する…これが本来あるべき大学の姿でしょうか。いやしくも「自由と進歩の大学」を掲げる大学がこの有様です。この現状を変える主体は他でもない、法大生自身です。

現在、全国の大学が、学生から高額の学生を管理下におき、「消耗品」として企業に送り出すための「労働者工場」の様な存在に成り果てようとしています。法大をそのような商業主義的風潮から解放し、そして全国の大学へこの闘いを広げていきましょう。

4.25の法大デモが変革の起爆剤になることを切に望み、私は連帯します。

◆神奈川学生

4.25法大集会への結集を呼びかけます。

法大闘争は今年、文化連盟が暴力集団と言われてきた根拠でもあった暴処法弾圧裁判で遂に無罪を勝ち取りました。法政大学当局はこの裁判や弾圧の過程で沢山の学生を処分し、この後も文化連盟に対して誹謗中傷を宣伝して来ました。

しかし、この無罪を取ってからも大学は根拠の無い誹謗中傷を繰り返しています。

自由を標榜する大学が社会にものを言う学生を弾圧し、警察に逮捕までさせて、またそれが間違っていた事が証明されても自らを省みない、僕達はこうした大学のあり方を批判し変えるために4月25日に行動を起こします。多くの学生の力が必要です。結集をお願いします。

◆関西学生

おかしいことをおかしいと言う学生。ならぬことはならぬと言う学生。そういう学生を警察とグルになって迫害する法政大学。法大生のみなさん立ち上がりましょう。声をあげましょう。黙っていたら、私たちの権利はどんどん剥奪され、ナンセンスなルールを一方的に押し付けられ、学費は上げられ続けます。田中優子法大新総長は、権利は勝ち取るものと述べておりました。闘いましょう。団結の力で法大当局の悪政を粉砕しましょう。

◇早稲田大１年生

私は現在の日本の大学の在り方、ひいては学問の在り方に疑問を抱き続けています。入学前の説明会から就活の話を聞かされ、キャンパスをキレイにするための建て替えで学費が上げられ、奨学金は削られ、講義の評価はレポートや試験よりも出席を重視する、そのすべては「グローバル人材」へと成長するため。そして学生たちの大多数が就職できないかブラックな非正規職にしか就けない。大学は、批判的知性を奪い社会に従順な労働者を作り出すための工場でしかないのでしょうか？

法政大学は大学のやり方に批判的な学生に暴力を振るい、処分し、公安警察に逮捕させており、日本で最も自由のない大学でしょう。しかしこれは全国の大学が共有する方針であり、決して法大だけが異常なわけではありません。すでに多くの大学で「法大化」が進行しています。われわれ全国の学生が今すぐ行動しない限り、日本の学問は壊滅するでしょう。今こそ大学と学問の在り方を問い直し、われわれ学生の自身の在り方を問い直そう。そして法大闘争に決起し、法大当局と御用学生団体を打倒し、闘いを全国の大学に広げよう。

「大学改革」粉砕！　大学の主人公は学生だ！

４･25法大解放総決起集会

４月25日(金) 12:40～ 法政大学市ヶ谷キャンパス集合

13:30～ 法大包囲デモに出発

呼びかけ：４･25集会実行委員会